



■ 夏を制する者は、受験を制す！

今年も夏休み期間中の8月の5日間、中学3年生を対象にした学力向上プロジェクト『学力アップセミナー』が中央公民館で行われ、55名の生徒が参加しました。大崎中学校をはじめ志布志高校、中沖小学校、持留小学校の先生方に講師として来ていただきました。

開校式では、卒業生である鹿屋高校1年の岡本 隼斗 さんから、セミナーの受講体験、受験に対する心構え、高校生活の過ごし方等を話していただきました。

教科は、数学と英語の2教科で、内容に応じた3つのコースに分かれセミナーを受講しました。

また、閉校式では志布志高校の 亀田 誠 教頭先生に特別講義をしていただき、生徒たちは引き締まった表情で講義を聞いていました。受講を終えた生徒たちからは、「高校の先生の授業が分かりやすかった」「家で勉強するよりも集中できる」などの感想が聞かれました。

これから受験までの大事な時間をどのように過ごせばよいか、改めて考えるきっかけにもなった有意義なセミナーとなりました。



▲生徒の英語の発音の確認



▲根気よく数学の問題に取り組む生徒

僕の夢 私の夢

『将来の夢』

No.37

菱田小学校 6年 かんざき れな 神崎 玲奈

私の将来の夢は、看護師になることです。医者のお助けを助けて、みんなの健康を守ることを将来の仕事にしたいとずっと考えてきました。実際に病院に行ったときに、活やくしている看護師の方の仕事ぶりを見て、人の命を救える仕事をしたいと思ったことがきっかけです。もちろん、つらい病気やけがを抱えている人の近くでサポートするという事は、思っている以上に大変なことだと思いますが、責任とやりがいも大きいと思います。

しかし、看護師になるためには、しっかりと勉強して看護師国家試験に合格する必要があります。今は、学校の勉強をしっかりと、将来への道につなげたいと思っています。また、看護師を目指すにあたって、私がお一つ直したいなあと思っていることがあります。それは、他の人に対する言い方がきつところなんです。ついつい、自分の思いが強すぎて、他の人への言い方がきつくなってしまうんです。私が見た看護師さんたちは、みんな笑顔で患者さんたちにやさしく接していました。私も、だれにでもやさしく接することができるように、言い方に気を付けていきたいと思っています。

私も来年は中学生になります。大人に少しずつ近づいていきます。将来の自分の姿を考えながら一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。看護師の仕事についても少しずつ知っていきたくです。将来、看護師になって良かったなあと思えるように、自分の夢に向かってがんばっていきます。